

法人 (事業所) 理念	笑顔でいきいきとした生活の「まほろば」を目指し、「ともに」あゆんでいきます。				
支援方針	子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を行います。また、地域の中で「ともに」安心して過ごせる居場所をつくっていきます。 その中で成功体験や自尊心を育めるように支援を行っています。 「ともに考える」「ともに支えあう」「ともに喜ぶ」「ともに悲しむ」「ともにあゆむ」				
営業時間	9 時	0 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・学校や自宅にて引き受け時、学校や自宅での様子を確認します。 ・来所時に健康観察を行います。 ・身辺自立や宿題等、個々の利用児に合わせて課題に取り組み、習慣化できるように支援します。			
	運動・感覚	・縄跳び、ボール遊び等、それぞれの利用児の好きな活動を通じて楽しく身体を動かします。 ・制作活動を通じて作品を作ったり、手先を動かす機会を増やしていきます。 ・音楽を通じて、楽器を演奏したり、リズムに合わせて身体を動かす楽しさを覚えていけるように支援します。			
	認知・行動	・スケジュールボードを使用し、見通しをもって生活ができるように支援します。 ・日々の生活や課題（フロッグやレゴ、シール張り等）に取り組みながら色や形、大きさを知る機会を作ります。 ・おやつや自由時間等、一日の流れを作り、時間を意識しながら活動します。			
	言語コミュニケーション	・子どもたち同士で関わる機会が増えるように職員が橋渡しをします。 ・様々な人と関わりを持つことで、いろいろなコミュニケーション方法に触れる機会を増やします。 ・ハンドサインや絵カードなどを使用し、本人が積極的に自分の意見や考えを伝えられる機会を図ります。			
	人間関係 社会性	・来所時や帰りの際に職員や他の利用児にハンドサインや口頭などで挨拶する習慣を身につけます。 ・集団活動や好きな活動を通じて様々な人と関わる機会を増やします。 ・制作活動や集団活動、おやつの際など、利用児同士で手伝ったり助け合う雰囲気大切にします。			
家族支援		・モニタリングや面談を行い、日々の様子や今後の支援について一緒に考えていきます。 ・連絡ノートにて日々の様子や連絡事項を共有します。		移行支援	・随時保護者との面談を行います。 ・他の事業所や学校、病院などと連携を図ります。
地域支援・地域連携		・各関係各所との連絡事項の共有やケース会議等の連携 ・市内外の福祉事業所との連携 ・地域イベントの参加 等		職員の質の向上	・採用時の新人職員研修（マナー研修等） ・法定研修 ・外部研修等（随時）
主な行事等		・各季節イベント、地域ボランティアによるイベント（楽器演奏、ダンス、体操など）			